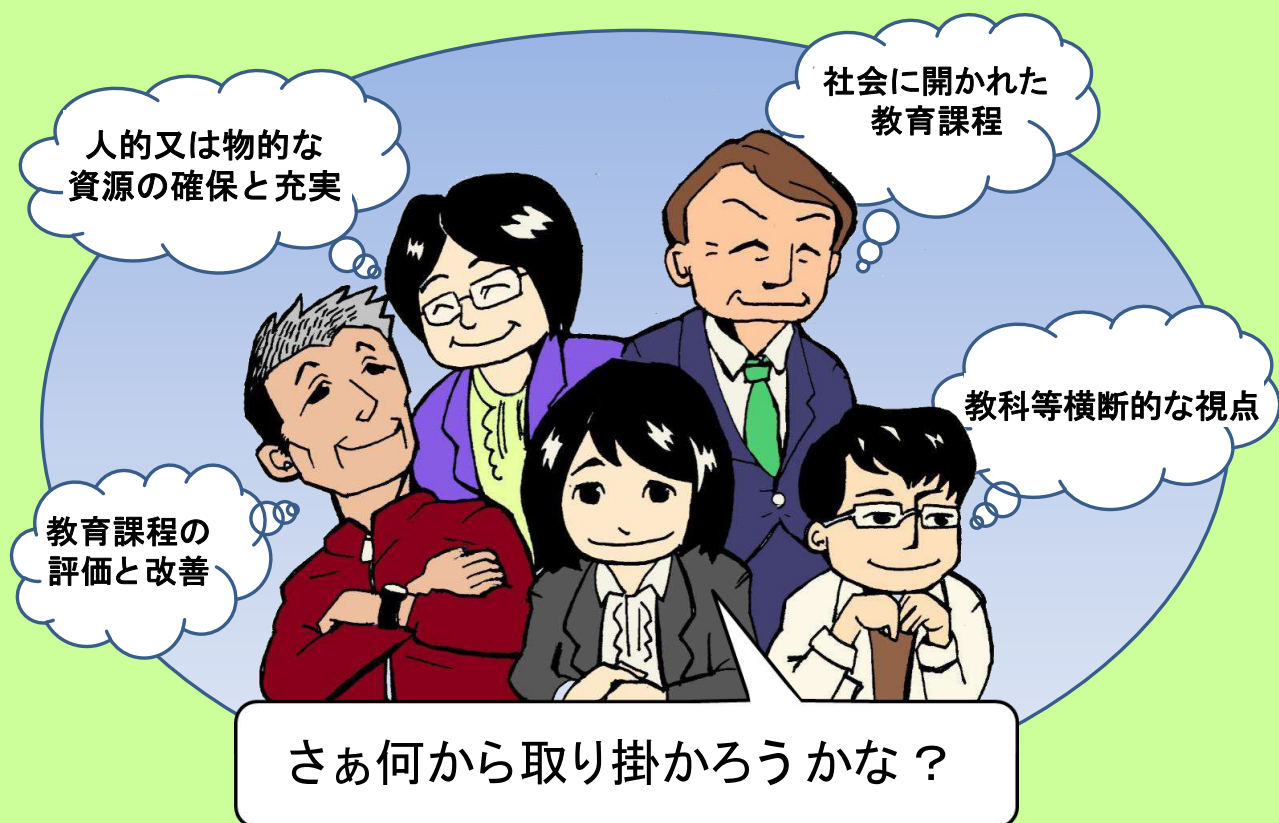


みんなで取り組む カリキュラム・マネジメント

東京都教職員研修センター

「**社会に開かれた教育課程**」を実現するために、学校全体で、
教育課程を軸に学校教育の改善・充実の好循環を生み出す
「**カリキュラム・マネジメント**」の実現を目指しましょう。



「**カリキュラム・マネジメント**」の実現に向けて、まず
「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」を
用いて、カリキュラム・マネジメントに係る意識や取組に
ついて、日々の教育活動を振り返りましょう。

カリキュラム・マネジメントに係る意識や取組について、セルフチェックをしましょう。

カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート（教員対象）

カリキュラム・マネジメントの三つの側面を基に、「**教科等横断的な視点について**」、「**人的資源について**」、「**物的資源について**」の三つの観点を設け、三枚のシートで構成しています。それぞれ **Plan**〔編成〕、**Do**〔実施〕、**Check**〔評価〕、**Action**〔改善〕、の段階に分けて、日々の教育活動について自己の評価ができるようになっています。

各設問については、「当てはまる」から「当てはまらない」までの5段階で自己の評価を行い、星の数で回答します。

カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート 氏名 1回目 経験年数 年

＜物的資源について＞

カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート 氏名 職層 1回目 経験年数 年

＜人的資源について＞

カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート 氏名 職層 1回目 経験年数 年

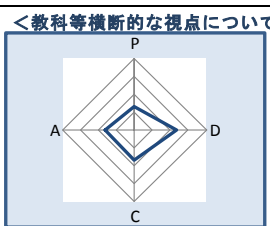
＜教科等横断的な視点について＞

※質問に対して、御自身の取組に一番近い☆をチェックしてください。

設問	回答欄					改善例等
	当てはまらない			当てはまる		
1 学校の教育目標や重点目標等を十分に理解して教育活動を行っている。	★	★	★	☆	☆	PDCA
2 各教科等の年間指導計画の作成は、学校の教育目標や重点目標等を達成するために教科等横断的な視点を意識している。	★	★	☆	☆	☆	PDCA
3 各教科等の評価について計画する際、それぞれの教科等でどのような評価方法を用いているか確認することを意識している。	★	★	☆	☆	☆	PDCA
4 日々の授業で把握した児童・生徒の学習状況を基に、教科等横断的な視点を意識して指導している。	★	★	★	☆	☆	PDCA
5 日々の授業で把握した児童・生徒の学習状況を基に、学年や他校（園）種の系統性を意識して指導している。	★	★	★	★	☆	PDCA
6 日頃から、評価に活用するために評価規準を明確にして児童・生徒の学習や活動の状況当を記録し、蓄積している。	★	★	★	☆	☆	PDCA
7 児童・生徒の資質・能力が育成されたかについて、学習や活動状況の記録やテスト等を基に評価をしている。	★	★	★	☆	☆	PDCA
10 単位時間等）や指導方法を改善して、次の授業に臨んでいる。	★	★	★	☆	☆	PDCA
11 児童・生徒の評価や、他教科等との関連を意識して単元の配列を検討し、各教科等の年間指導計画を改善している。	★	★	☆	☆	☆	PDCA
12 学校行事の改善案を作成する際、各教科等との関連を意識して効果的な指導計画等を検討している。	★	★	★	☆	☆	PDCA

＜教科等横断的な視点について＞

○教科等横断的な視点について
学校教育目標等の実現に必要な教育の内容等を選択し、各教科等の内容相互の関連を図りながら指導計画を作成したり、児童の生活時間と教育の内容との効果的な組み合わせを考えたりしながら、年間や学期、月、週ごとの授業時数を適切に定めたりしていくこと



☆をクリックすることで、回答できます。

矢印のアイコンをクリックすると、回答の結果から見いだした課題に対応した改善例や、実践事例を参照することができます。

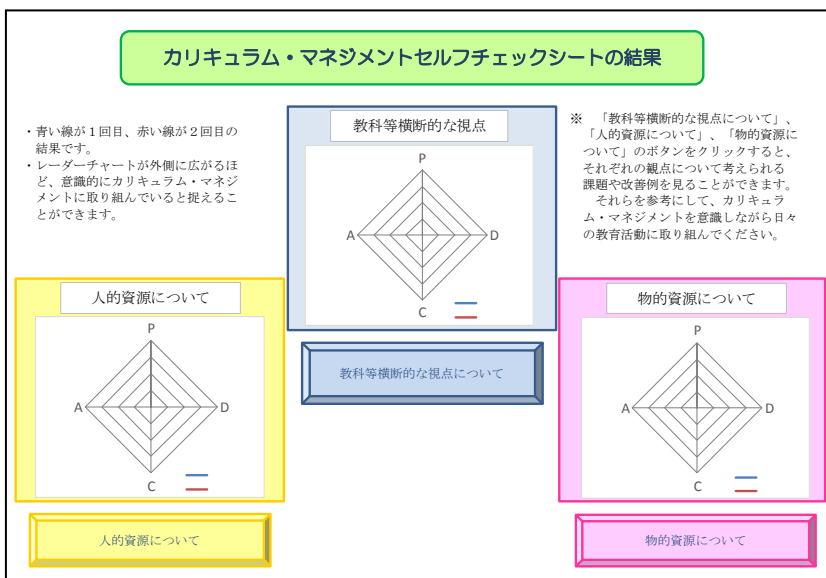
チェックの結果から課題と改善例を見つけましょう。

改善例等



- ①「考えられる課題」ボックスの中に示された課題を選択すると、その課題に対応した改善例等が②「改善例等」ボックスの中に表示されます。
- ③「グランドデザイン例」等のボタンをクリックすると、新しくウィンドウが開き、研究協力校の実践事例を参照することができます。

個別のレーダーチャート



実施時期を2回に分けて回答することができるようになっていて、それぞれの観点について自身の変容を捉えることができます。1回目の結果は青い線、2回目の結果は赤い線で表示されます。

設問に全て回答すると、その結果がP D C Aそれぞれの段階別のレーダーチャート形式で表示されます。

レーダーチャートが外側に広がるほど、カリキュラム・マネジメントを意識して教育活動に取り組んでいると捉えることができます。

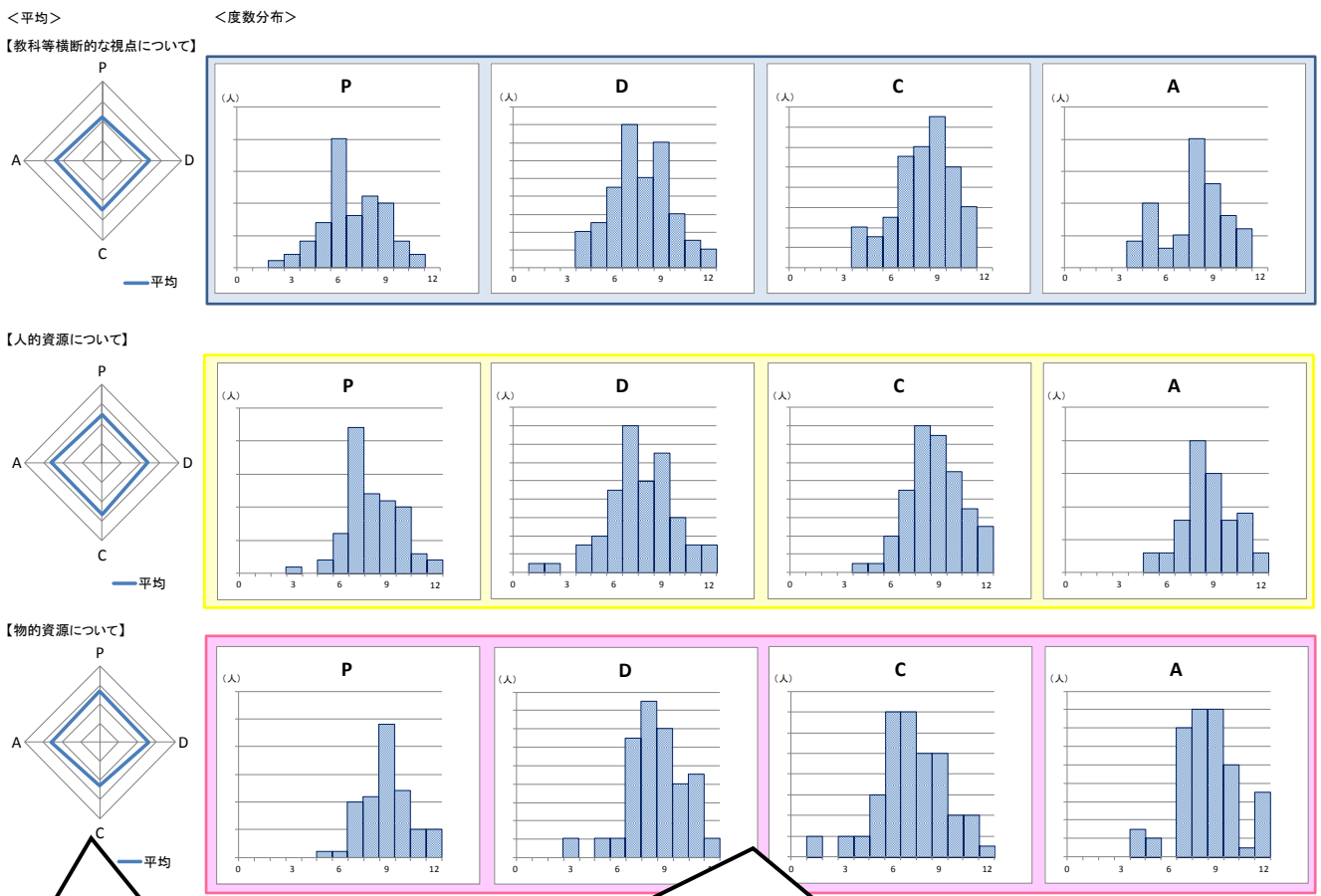
チェックシートの結果や改善例等を参考にして、児童・生徒の学びを更に充実させましょう。

学校全体の傾向を見てみましょう。

教員全体のカリキュラム・マネジメントに係る意識や取組の傾向（管理職対象）

各教員が回答したデータを集計することにより、教員全体のカリキュラム・マネジメントに係る意識や取組の傾向、特徴を概括的に捉えることができます。チャート図や度数分布図を参考に、研修計画や人材育成に役立ててください。

（※ この表はデータ入力シートの数値が反映されています。）
 教員全体のカリキュラム・マネジメントに係る意識や取組の傾向



レーダーチャートにより教員全体の集計結果の平均を見ることができます。
 レーダーチャートが外側に広がるほど、教員全体の結果の平均が高いことを表します。

各教員が回答したデータを集計したものです。教員全体のカリキュラム・マネジメントに係る意識や取組の傾向を概括的に捉えることができます。
 縦軸→人数
 横軸→合計点0～12

星の数	点数
☆	0
☆☆	1
☆☆☆	2
☆☆☆☆	3
☆☆☆☆☆	4

学校において達成目標、評価規準を設定し、自身の取組状況を明確にしてからカリキュラム・マネジメントセルフチェックシートを行うことも考えられます。また、設問や改善例等は全て**編集することが可能**です。より学校の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントセルフチェックシートを作成することができます。

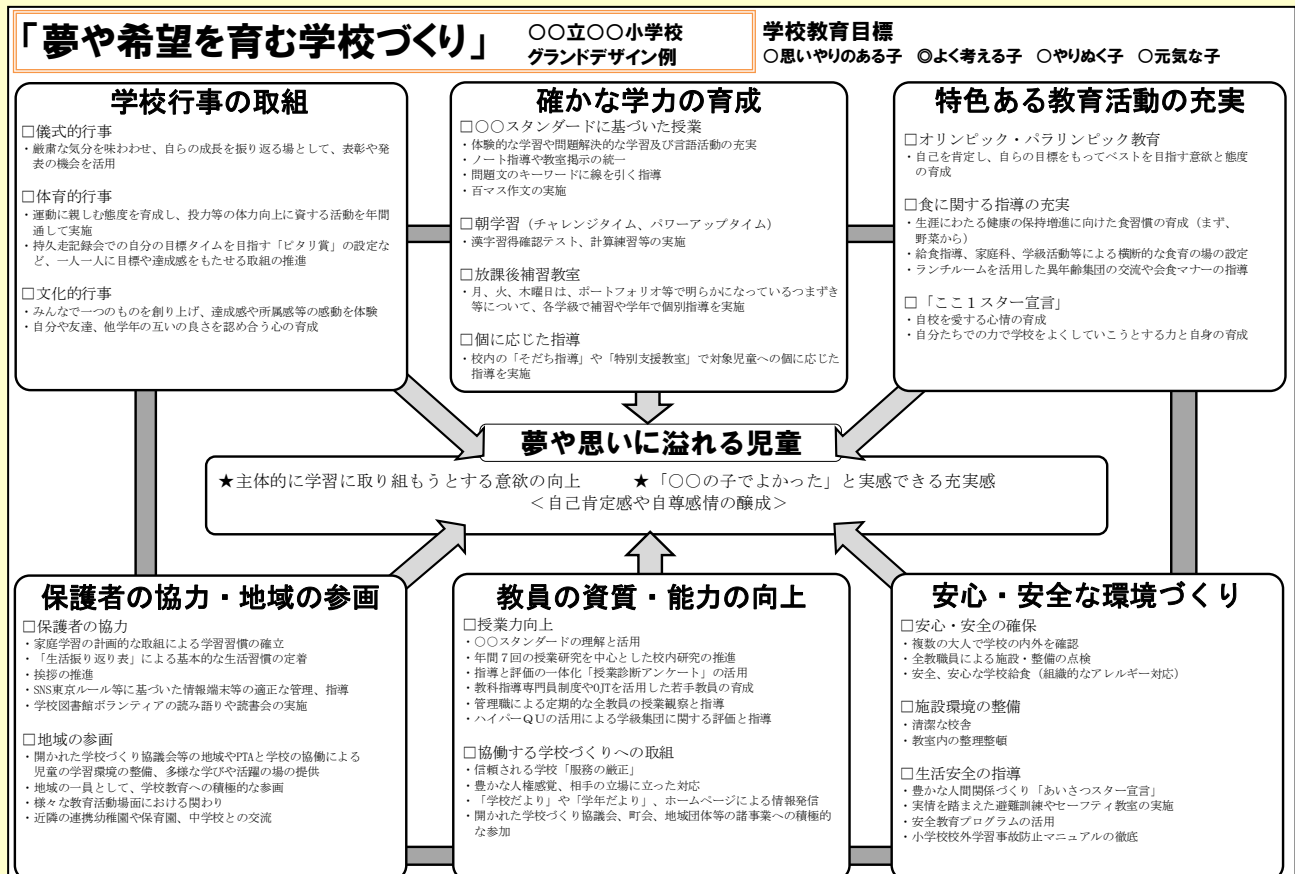
カリキュラム・マネジメントに関する実践事例

実践事例① 学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメント 〈都内公立小学校〉

「グランドデザイン」を活用して、全教員のカリキュラム・マネジメントについての意識を高め、よりよく学校教育目標等を達成していくための実践事例です。

中央に掲げた本校の育てたい児童像と重点項目の達成に向けて、各項目のつながりを可視化できるようにしています。日々行っている教育活動や地域がどのように位置付けているのか等について俯瞰することができ、この「グランドデザイン」を基に定期的に全教員で本校の教育活動を評価し、改善案を考えていくことで、教育活動の充実を図ることができます。

職員室に拡大して常に見ることができるようになり、各項目に具体的な達成目標を設定して達成できたら印を付けたりすること等、様々な工夫を加えていくことも考えられます。



実践事例② 重点目標を軸にした教科等横断的な学びの実現 〈都内公立中学校〉

「年間指導計画一覧」を活用して、学校の重点目標の達成に向け、意図的、計画的に取り組むための実践事例です。

「年間指導計画一覧」は、重点目標と関連している学習内容に色付けすることで、各教科等のつながりが明確になり、各教員が教科等横断的な視点をもって授業を設計できるようにしています。各教科等のつながりをより強めて効果的に目標を達成させるために、類似した内容や関連した内容等を近い時期にまとめるなど、単元の配列の工夫をしています。このことで、各教科等の学習の充実はもとより、各教科等の指導内容を相互の関係で捉えることができます。

年間指導計画一覧例(〇〇立〇〇中学校)第1学年		教育目標の重点項目 【自尊感情の向上を基盤とした人権感覚の向上】 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが、知識・理解だけでなく態度や行動に現れるようにする。 → 自他の生命を尊重できる力 → 「いじめ」を許さない意思と「いじめ」をなくす行動力																			
		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
国語	野原は歌う 花曇りの向こう	分りやすく説明しよう データは大きな根	ちよっと立ち止まって 日本文化ガイド	空を見上げて 読書生活を豊かに	星の花が降るころに 大人になれなかった者たちに…	シカの「落ち穂拾い」 調べたことを報告しよう	物語物語 幻の魚は生きていた	書き初め 楷書・行書	書き初め 経文を書く	少年の日の思い出 流水と私たちの暮らし	調べたことを報告しよう ポスターセッションしよう										
社会	世界の様々な地域 世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域 アジア州		歴史の流れを捉えよう 日本列島誕生と大陸との交流、古代国家の歩み、アジアの世界			中世の日本 武士の台頭と鎌倉幕府	世界の諸地域 ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州		世界の様々な地域 の調査											
数学	正負の数 符号のついた数、四則計算	文字と式 文字、式の読み取り		方程式 解、方程式と比			比例・反比例 座標、グラフ		平面図形 作図、移動、おうぎ形		空間図形 角錐、円錐、体積、表面積	資料の散らばり 代表値、近似的値									
理科	植物の生活と種類 花、葉、茎、根、植物の分類				物質のすがた 気体の発生、物質の状態変化			物質の溶解、溶液の濃度		大地の変化、火山 地層、地震、大地の変動											
	身近な物理現象 光の性質				音の性質 音の伝わり方、音の大小と高低の原因			力と圧力 重さと質量、力を表す単位と矢印、水圧と浮力		まとめ											
音楽	明るく歌う 歌謡の基本、拍の流れ	混成二部合唱の響き ト音譜表、ヘ音譜表	指揮法の基礎 拍子	曲の構想 ビバルディ「春」	旋律の役割 「変わらないもの」		合唱歌 課題曲、自由曲 リズム創作	日本の伝統文化 和太鼓	日本の唱歌 ふるさと	日本の民謡 アジアの音楽	場面の变化 シューベルト作曲 「魔王」	多声的な旋律の重なり 「時の旅人」									
美術	オリエン テーション	素描 「物をもつ手」	色の学習 色相環、グラデーション	鑑賞・デザイン 美術館レポート	工芸「木工パズルの制作」 用具、道具の扱い方、アクリル絵の具の着色方法、作品の鑑賞			鑑賞 「4点のみまわり」		デザイン技法の基礎 レタリングの基礎			デザイン「創作文字」 豊かな発想とアイデア								
保健 体育	男	体つくり運動 陸上競技、ソフトボール、保健			水泳 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、保健		武道	ハンドボール	短・長距離、保健	マット運動	ダンス	保健、サッカー、バスケットボール									
	女	体つくり運動 陸上競技、バスケットボール、保健			水泳 クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、保健		武道	ハンドボール	短・長距離、保健	ダンス	マット運動	保健、バレーボール、サッカー									
技術・家庭 技術分野	技術とものづくり	材料の特徴・設計	トムの栽培	生育と環境条件		木工製作		安全のこぎり	情報とコンピュータ	コンピュータの役割	起動・終了	招待状の作成									
	技術の発達と生活	構想図・製図演習	生育環境	基礎的な栽培技術		木工製品の製作(実習)		加工・組み立て等	情報と生活	各装置の役割	様々な機能の練習										
技術・家庭 家庭分野	生活の自立と衣食住	日常着の着方	日常着の手入れ	これからの衣生活		基礎縫い(小物作り(実習))		住まいの働き	健康で快適に住まう	自然と共に住まう	一人前の後々までの快適な生活										
	自分らしく清潔に暮らす	衣服の働きと着用の仕方	洗濯の仕方	手入れや補修(実習)																	
外国語	アルファベット (ローマ字も含む)	W&S数字 Let's Talkごめんない	W&S曜日と教科 Let's Talk何曜日、どこにありますか	W&S季節と月 Let's Talk買い物しよう	W&S色と大きさ、いろいろな場所 Let's Talkこれだけの?	W&Sインタビュー インタビューの聴き方 インタビューの聞き方	Let's Talk電話をしよう Let's Talk公園に行こう	Let's Talk電話をしよう Let's Talk公園に行こう	Let's Talk話して好きかな?	大切なものを紹介しよう Let's Read Alice and Humpty Dumpty											
	I1自己紹介	I2人・もの、学校案内	I3好きなものは何?	I4校外学習って楽しいね	I5インテリジェントな生活	I6いろいろなスポーツ	I7アメリカの中学生の生活	I8日本の四季を楽しもう													
特別の教科 道徳	思いやり、感謝 生命の尊さ	思いやり、感謝 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実 自主、自立、責任 向上心、植物の生長	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動	思いやり、感謝 生命の尊さ 自主、自立、自由と責任 責任と義務、責任と強い意志 健康、運動									
総合的な 学習の時間	ガイダンス	地域に関する課題設定			情報の収集		情報の整理・分析		まとめ・表現	職業に関する課題設定			情報の収集	まとめ・表現							
	情報モラル									国際理解			情報の整理・分析								
特別活動 (学級活動)	中学年になった生活について 学年目標作成、生活・学習目標 確認づくり/進捗管理 校外学習に向けて	校外学習に向けて確認づくり 学年目標確認/生活・学習目標 確認づくり/進捗管理 校外学習に向けて	体育祭に向けて 学習方法の工夫 計画的な学習(期末考査)	1学期を振り返って 夏休みの過ごし方		2学期の学習・生活目標 確認づくり 合唱祭に向けて		議案書討議 合唱祭への取組	働く人たちの仕事と考える 期末考査に向けて	2学期を振り返って 冬休みの過ごし方	確認づくり 8学期の学習・生活目標 学年末考査に向けて	1年間を振り返って 2年生への準備 春休みの過ごし方									
学校行事等	入学 始業式	離任 式	生徒 総会	校外 学習	中間 考査	体育 祭	期末 考査	セーフ ティ 教室	終業 式	進路探 査地区 公開講座	防災 訓練	役員 選挙	中間 考査	合唱 祭	期末 考査	終業 式	始業 式	福祉 体験	学年 末考査	総合 発表会	卒業・ 修了式

実践事例③ 地域との連携や人的・物的資源の活用 〈東京都立高等学校〉

「人的・物的資源リスト」を活用して、外部の人的資源や物的資源についての情報を蓄積し、それらの資源を教育活動に効果的に活用するための実践事例です。

「人的・物的資源リスト」の作成に当たっては、次の担当教員へ円滑に引継ぐことを念頭において、実施した活動の詳細を記載し、様々な市民講師や外部施設を教育活動に効果的に活用できるように工夫をしています。特に、打ち合わせの仕方、集合場所や会場の準備、活動に必要な物品、担当教員の役割等を具体的に記すことが大切です。

このリストを活用することにより、次に担当になった教員は円滑に教育活動を計画・実施をすることができます。

年度 人的・物的資源リスト

年度	講座	主な内容	施設名	氏名(担当者)	電話	住所	依頼年度	講師料	引継ぎ事項等(講師、使用物品費用について等)
1	公民 保育	保育実習	〇〇保育園						①体験時、保育園や学童クラブを見回る。 ②動きやすい服装にする。
		学童クラブ指導体験	〇〇学童クラブ						
2	公民 福祉(高齢者・障害者)	講義・介助体験	〇〇福祉作業所						①開始前までにセミナールーム1abを開けて、プロジェクターを置いておく。 ②体験時、校内(市民講師)と高齢者福祉施設、障害者施設を担当が見回る。 ③自転車を使用しなくても見回ることは可能である。
			〇〇高齢者福祉施設						
3	理科 園芸農業	野菜や花の栽培について(講義)		〇〇〇〇					①開始前までにセミナールーム3aを開けておく。 ②ジャージ、軍手、タオルが必要である。
		栽培活動支援(月1回)		〇〇〇〇					
4	公民 手話	視覚障害疑似体験 手話うた、手話スピーチ							
5	美術 クラフト	ステンシル、ストラップ、黒板、糊、小物入れ、はんこ		〇〇〇〇					①教材を購入する。教室を片付ける。技術指導をする。
6	音楽 保育音楽	保育・音楽系進路に必要な音楽理論とピアノ実技							①音楽科の教員が担当となる。
7	情報 電子工作	電子回路や電機の仕組みについて学ぶ。							①基礎回路の修理及び、動作確認をする。(3、4限) ②配慮:高電圧を使うので、落ち着かない生徒には十分注意する。
8	公民 ワーク・チャレンジ・プログラム	模擬的な会社を作り、実際に働く体験を行い、働く上で身に付けておきたい基本的なことを学ぶ。							①授業日の休休みに講師の先生と打合せをする。ICT機器のセッティングをする。体験用具を準備する。
9	国語 読書と表現	ビブリオバトルの研究、実践を行い、プレゼンテーションの力を高める。	NPO						①前期受講者は東京都「ビブリオバトル」の大会に1名参加する。 ②前期・後期とも、校内で「ビブリオバトル」を2回程度実施する。
10	数学 電卓基礎	電卓の使い方を学ぶとともに「速く、正確に」計算する技術を得る。		〇〇〇〇					①参加者分の電卓を準備する。
11	情報 情報検定	パソコンを利用した検定にチャレンジする能力を養う。		〇〇〇〇					①事前に検定問題(問題集と過去問)を用意し、人数分コピーしておく。
12	家庭 食物検定	栄養学・食品学・衛生学などの座学授業や実習を行う。							①食材購入(新鮮でなければいけないため授業にできるだけ近い時間に近隣のスーパーマーケットに買いに行く。) ②調味料を計画的に購入する。(公費より) ③授業までに調理器具(炊飯器など)を出す。麦茶を準備する。授業後は使用したふきんの洗濯、調理器具をしまう。 ④筆記試験対策のための研究、問題集を印刷する。検定の申し込み(4月、10月)、合格者名簿等を作成、郵送する他。 ⑤家庭科教員が2名必要である。
13	外国語 英語検定	筆記、リスニングの勉強をする。							①英語科の教員であればよい一が担当となる。
14	国語 漢字・日本語検定	漢字検定・日本語検定2級～4級の過去問題や練習問題を繰り返し解く。							①国語科の教員が担当となる。
15	国語 ベン習字	硬筆を用いた実用的なベン習の練習をする。	〇〇会						
16	数学 数学検定	数学検定受験のために「数学」の勉強をする。							①数学科の教員が担当となる。
17	美術 色彩基礎	「色に関する知識や技能」を理論的、系統的に学ぶ。							①美術科の教員が担当となる。

実践事例④ 各教科等の指導内容や活用する資源等の共有 〈東京都立特別支援学校〉

各教科の「年間指導計画（シラバス）」を活用して、教員間で学習内容の共通理解を図り、児童・生徒の系統的な学びを実現していくための実践事例です。

各教員が外部専門員等の人的資源や物的資源の活用を意識して教育活動に当たることができるように、教科ごとに目標や各学年の内容、評価方法に加えて、「人的な活用」と「物的な活用」の項目を設定しています。また、各教員が他教科等とのつながりを考えて教科等横断的な視点で学習を進めることができるように、「他教科等との関連」の項目も設定しています。

この「年間指導計画（シラバス）」を活用することで、他教科等の内容等を理解し、教科等横断的な視点や他学年との系統性を考えた授業づくりにつながっています。また、児童・生徒や学校の実態を基に、定期的に更新することで、児童・生徒の実態に即した指導を行うことができます。

加えて、保護者や地域等外部との連携を図るために、Web ページ等でこの「年間指導計画（シラバス）」を公開しています。

小学部		教科の年間計画とカリキュラム・マネジメントとの関連				
第1段階 図画工作科		本校児童目標 自分の仲間を大切にし、ともに活動する力を育てる。				
教科の目標	知識・技能 (1)	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくることができるようにする。				
	思・判・表 (2)	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。				
	人間性の涵養 (3)	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。				
一段階目標	知識・技能 (1)	形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。				
	思・判・表 (2)	表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。				
	人間性の涵養 (3)	進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色などに関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。				
学期	月	指導時数	単元名	人的な活用	物的な活用	他教科等との関連
1 学期	4	4	好きな色で描こう	学校図書室司書	学校図書室	国語：読み聞かせ「あおくんときいろちゃん」
	5	8	こいのぼりをつくろう		人形工房	音楽：歌唱 生活単元学習：季節の行事
	6	8	アジサイをつくろう	花屋	公園	生活単元学習：植物観察
	7	6	いろいろな色の水をつくろう			
2 学期	9	8	お月見をしよう	学校栄養士	和菓子屋	生活単元学習：調理 音楽：歌唱
	10	8	おもいをほろう	農家	農場	生活単元学習：調理 音楽：歌唱
	11	8	運動会応援グッズづくり	応援団員	近隣高校	行事：運動会
	12	6	雪の版画	学校図書室司書	学校図書室	国語：読み聞かせ「ごろんごゆきだるま」
3 学期	1	2	しろくろで描こう	書写専科の教諭	書道教室 美術館	国語：書字
	2	4	粘土をこねよう	陶芸家		
	2	4	鬼の顔づくり	役者		行事：節分集会
	3	4	かぼんの模様付け		鞆屋	生活単元学習：靴づくり
評価	興味・関心	様々な材料に積極的に触れて、主体的に造形活動に取り組んでいる。(発言、行動、振り返りシート)				
	創造的な技能	描く、切る、塗る、貼るなどの活動の際に自分なりの工夫ができています。(行動、作品)				
	発想と構想の能力	形や色に自分なりのイメージをもって作品づくりをしている。(発言、行動、作品)				
	鑑賞	作品などに注目し形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりしている。(発言、行動、振り返りシート)				
備考 更新履歴		年 月 日				

カリキュラム・マネジメントに関する Q&A

Q 「カリキュラム・マネジメント」とは何ですか？

A 学校教育に関わる様々な取組を、**教育課程を中心に**据えながら**組織的かつ計画的**に実施し、**教育活動の質の向上**につなげていくことです。

Q 「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」はいつ実施すればよいのでしょうか？

A 例えば、状況把握のために1回目を**1学期初め**、変容を見ることや次年度に向けた改善のために2回目を**2学期末**に行うなど、**学校の実態に応じて時期や活用の仕方を考えて実施**します。

なお、本シートについては、表計算ソフトを用いているので短時間で回答し、自己の評価を行うことができます。

Q 「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」は業績評価に使われることはありますか？

A 「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」は業績評価に使うためのものではありません。各学校においてカリキュラム・マネジメントに係る自校の教員の意識や取組の状況から課題を把握し、**学校の教育活動の充実・改善につなげるためのシート**です。

Q 「カリキュラム・マネジメントセルフチェックシート」設問の内容が自校の実態に合っていない場合は、どうしたらいいですか？

A カリキュラム・マネジメントセルフチェックシートは、設問や改善例等、全て加除修正が可能です。**学校の実態に応じたカリキュラム・マネジメントセルフチェックシート等を作成**してください。

Q カリキュラム・マネジメントに関する校内研修等の講師を依頼することはできますか？

A 東京都教職員研修センターの**モデルプラン**に、カリキュラム・マネジメントに関する研修プランがあります。詳細につきましては、「平成 31 年度東京都教職員研修センター 研修案内」を御覧の上、申込みください。